

情報担当委員会アワー

●第3地域ロータリーコーディネーター

パストガバナー 滝澤功治様（神戸須磨 RC）

「My ROTARY ロータリーの力」



よく「ロータリーは変わった。本来のロータリーはこんなものではない。」と言われる方がいます。ロータリーは変わったのか、変わったとすればどのように変わったのか、それはなぜなのでしょう。

例会欠席のときのメイクアップについて考えてみましょう。私がロータリーに入会したころは、メイクアップの期間は例会の前後7日間でした。それが1995年規定審議会で例会の前後14日間と長くなり、その後2019年規定審議会で、「同一年度内」となりました。例会出席を大切にしてきた日本のロータリアンは、メイクアップ期間が有名無実になり、例会出席がないがしろにされているとして、強く反発しました。さらに2022年の規定審議会で、例会出席の報告義務が廃止されました。

このように大きな変更がなされた背景には、2016年規定審議会で採用された「柔軟性」があります。これは会員身分(資格)、例会と出席の2つのカテゴリにおいて、標準ロータリークラブ定款に反する内容であっても、クラブ細則で決めることができるというものです。例えば例会については、毎週でなくもよい、オンライン方式でもよいということですから、日本の多くのロータリークラブで議論が沸騰し、このような変更はロータリーで最も重要な例会の本質的価値を損なうもので許されないという声高な意見が出されました。

次の2019年規定審議会で、日本の各地区から「柔軟性」の修正、さらには撤廃しようという制定案がいくつか出されました。しかし、これらの制定案はことごとく否決か、取下げという結果になり、結局のところ「柔軟性」を撤廃するどころか、あらためて確認したという状況になりました。

ところで「柔軟性」というのは、一見、ロータリーの枠組みを取っ払って、何でもありにしたように思いがちですが、実はこれはクラブの実情に合わせ、各クラブで自由にルールを決めてよいというのが本来の趣旨です。ですから例会欠席のメイクアップ期間も、「同一年度内」が受け入れ難いのなら、クラブ細則で14日間にすればよいのです。

振り返ってみれば、2016年の「柔軟性」の導入はいきなり登場したものではなく、2000年のころから制度の様々な場面で、少しずつ「改正」という名のもとに実質的には「規制緩和」が行われてきたという経過があります。

なぜロータリーはこのようにいわばその「形」を変化させてきたのでしょうか。調べてみると、興味深い事実が見えてきます。

例えば、RIが現在の戦略計画の策定準備のために実施した調査の報告書(2017年発表)によると、「ロータリーにおける、最も重要な特質は何ですか」との質問に対する回答は国や地域によって回答にばらつきがありました。日本では「友情と親睦」が1位ですが、全ロータリアンでは3位ですし、アメリカでは5位です。全体で1位なのは「情報の透明性と説明責任」ですが、アメリカではこれが4位なのです。そのアメリカでは「高い倫理観を持つ人にとって魅力

がある」が1位です。これは全体では2位ですが、日本と台湾では4位になっています。

また、RIが戦略計画の評価のために実施した「全会員調査報告書」(2022年発表)によれば、会員にロータリー奉仕活動全体についての満足度を聞いたところ、アメリカやインド、東南アジアなどでは「very satisfied」が過半数を占めているのに対し、日本と韓国では「rather satisfied」(どちらかと言えば満足)が一番多いのです。欧米やインドのロータリー会員に比べ、日本のロータリー会員は満足度が低い、これが事実とすれば、それはなぜなのでしょう。

さらに、日本のロータリー100年に際して実施された日本のロータリーの会員を対象とする大掛かりなWEBアンケートの報告書によると、「あなた自身にとってロータリーの価値は何ですか？(あなたがロータリーを続ける理由は)」という質問に対し、最も多い回答が「自己研鑽と学習・成長の機会」で57.79%、次が「地域社会に貢献できるから」で48.85%、3番目が「生涯の友人、魅力的な仲間ができたから」で45.36%でした。日本のロータリー会員の多くはロータリーを「勉強」の場ととらえているようです。

ロータリーの会員として、入会したときは共通の理念に導かれていたのが、それぞれの国や地域の文化、風土、社会環境などの違いによって、次第に意識も関心領域も異なるようになり、また、その結果としてクラブの活動の内容にも差異を生じてきたのでしょう。

ロータリーには117年前の創立以来、さまざまな問題で論争が起こり、対立を生じてきましたが、その都度、それを乗り越えてきました。私は、ロータリーについては、色々な考え方があり、様々な価値観の持つ人々がいるのが事実であり、意見の違いはあるとしても、「4つのテスト」と「中核的価値観」を共通の基盤とする限り、それもこれもみな、同じロータリーなのだと考えます。

あらためて皆様に呼びかけたいと思います。ロータリーを学び、そして楽しみましょう。ロータリーについて、自分の思いを大事にしましょう。自分の頭でロータリーを理解しましょう。人から言われたからではなく、自分の考え方でロータリーを自分のものにしましょう。ロータリーによって自らを成長させることができます。ロータリーはあなたに必ず何かをもたらしてくれます。そしてロータリーはあなたを温かく迎え入れてくれます。